

# 上池袋地区

平成24年10月発行

企画・編集・発行：上池袋まちづくり協議会  
豊島区地域まちづくり課

題字：西村鶴洞 氏

まちづくり～生活環境の向上をめざす～ニュース

## No.51

### イベント

10/14

## まちづくり勉強会の開催

ー身近なまちづくりに参加しませんか？ー

上池袋まちづくり協議会では、災害に強いまちを実現するために、第1地区協議会では、「まちづくり協定」を、第2・3地区協議会では、「防災まちづくりルール（案）」を作成しました。

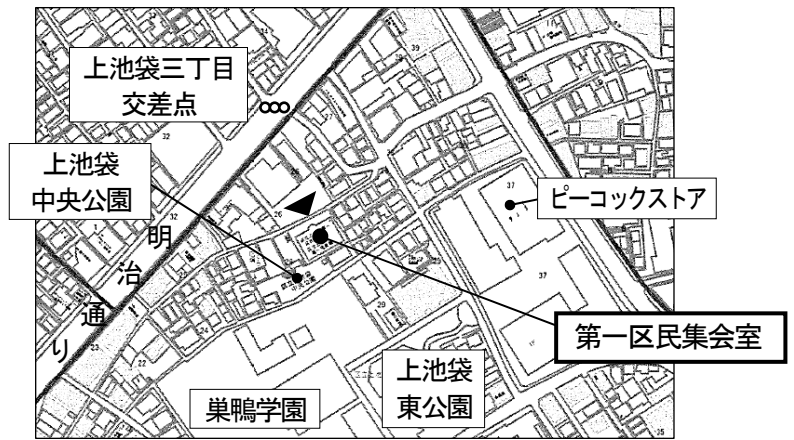
今後は、まちづくりの具体的な方法について考えていきます。

そこで、このたび、上池袋地区にお住いの皆様と共に、他地区ではどのようなまちづくりを進めているかを学ぶ「まちづくり勉強会」を開催します。どなたでも、参加出来ますので、是非、会場までお越しください。

日時：平成24年10月14日（日）14時00分～16時00分

内容：他地区のまちづくりの事例を学ぶ

場所：第一区民集会室（住所：豊島区上池袋一丁目28番7号）



ー再発見！上池袋のまちの魅力ー

（再募集）

## 【まちづくり写真コンテスト】

10/31

### 募集

まで

### 【テーマ】

- 残したいまちの風景  
（公園、親しみのある建物、イベント、日常の様子など）
- 防災まちづくりのために広めたいもの  
（生垣、防災設備など）

応募作品の中から数点の作品を、まちづくり協議会作成の「まちづくりルール」に掲載させていただくとともに、広報活動にも使用させていただきます。

応募資格：どなたでも可。ただし上池袋2丁目・3丁目の範囲で撮影されたもの。

応募期間：平成24年10月31日まで

応募規格：Lまたは2Lサイズに、現像または出力してください。1人につき何点でも応募可。

応募方法：タイトル、撮影場所、撮影日時、住所、氏名、電話番号を記入したものと、作品と一緒に、ご応募ください。

賞（数点）：第2・3地区まちづくり協議会により審査し、優秀作品には賞状・記念品授与。優秀作品の使用権は主催者に帰属します。まちづくり協議会の広報活動に使用させていただく場合があります。

発表：まちづくりニュースで発表します。

応募先：〒170-8422 豊島区東池袋1-18-1  
豊島区 都市整備部 地域まちづくり課  
上池袋地区グループ

注意事項：未発表作品であること。応募作品は返却しません。応募作品に関して著作権侵害や肖像権侵害などの法律上の問題が発生した場合は、主催者はその責任を負いません。応募の際に記入された個人情報については、本コンテストを運営するために必要な範囲でのみ使用し、それ以外では一切使用いたしません。優秀作品の掲載には撮影者の氏名を明記します。



## 卓上ランプづくりの 体験会を実施！

平成24年4月1日(日)、上池袋さくら公園で、「新入学児童のお祝いと花見会」が催されました。

第2・3地区協議会のブースでは、まちづくり協議会の活動のPRや災害時に使える卓上ランプ作りを体験していただきました。

卓上ランプは、空き瓶・アルミホイル・ティッシュのみで作り、燃料はサラダ油です。

ランプに灯が入ると皆さん満足げ。「簡単で、覚えておくと役立ちそう」という声をいただき、「お母さんに見せたい」とランプを持って走る子供もいて、大いに盛り上がりました。

また、協議会の出展にご理解・ご協力いただきました町会の皆様、ありがとうございました。



体験会の様子



## 水無月祭にポスター出展

平成24年6月7日(木)～9日(土)、区民ひろば上池袋で、水無月祭が行われました。協議会では、まちづくりルール案を皆さんに知っていただくため、ポスターを展示しました。

掲示の様子



## ■東京都木密地域不燃化 10年プロジェクトの取組み紹介

今年1月に、首都直下地震の切迫性や、東日本大震災の発生を踏まえて、木造密集地域の改善を一層進めるため、東京都より「木造密集地域不燃化 10年プロジェクト」が発表されました。

特に、甚大な被害が想定されるような、道路が狭くて木造家屋が密集した地域を対象に、10年間の重点的・集中的な取組みをおこない、燃え広がらない・燃えないまちにするというものです。

### 取り組みの方向性

1. 区と連携した市街地の不燃化の促進
2. 延焼遮断帯となる主要な都市計画道路の整備の推進
3. 地域における防災まちづくりの気運醸成

今年6月には、上記2.の対象となる特定整備路線※の候補が指定されました。

※特定整備路線とは…

延焼を遮断し、避難や救援活動の空間ともなる、防災上、効果の高い都市計画道路



## 池一小の児童と一緒に、地域で公園づくりについて考える会を開催しました！

平成 24 年 3 月 10 日 (土)、池袋第一小学校で、「平常時も災害時も利用しやすい公園をみんなで考えよう」というイベントが催されました。

このイベントは、昨年度、第4地区協議会で、将来の印刷局宿舎跡地の公園整備計画の検討に先立ち行った公園づくりの勉強会で、子供の意見を取り入れ多世代に親しまれる公園としたいという意見が出され、池一小のご協力のもと実現したものです。

「こんな公園になったらいいな」というテーマで作成したポスターを見せながらのグループ発表では、「遊具が多くて運動ができる公園」「子供からお年寄りまで安心して楽しめる公園」「防災に生かされる公園」等、ユニークな発想や多くの世代に気配りしていて大人も考えさせられるものが多く、大変心強く感じました。

発表後は、参加者から下記のような感想・意見があり、活発な意見交換会となりました。

協議会では、今回出された児童からのアイデアを、これからの公園づくりに反映させるよう頑張りたいと思います。

また、今回のイベントでは、池一小の校長先生・担任の先生をはじめ多くの先生方に大変お世話になり、ありがとうございました。

今後も、子供たちが住み続けたいと思うまちづくりを進めていきたいと思っています。



児童の発表



意見交換会

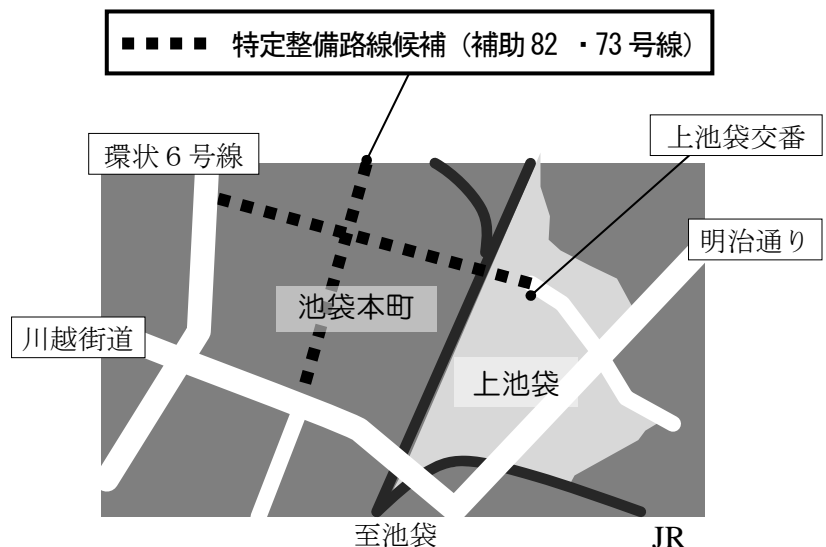
### 意見交換会で参加者から出た意見（一部）

- 説明が分かりやすく、暗記していたのに驚いた。
- おすすめ内容をランキング形式にするなど、発表の工夫がととても良かった。
- これまでは子どもの視点が欠けていたのに気づかされた。これからの公園づくりに生かしたい。
- 児童による司会のおかげで、会の運営もスムーズだった。

上池袋地区では、右図の通り、3丁目と4丁目の間にある補助82号線の、上池袋交番から池袋本町へ向かって環状6号線までが、候補となっております。

本年度は、モデル地区の取組みを踏まえて、新たな制度を構築し、その整備を進めることとしています。

協議会では、これらの取組みについても情報を得ながら、まちづくりを進めたいと考えています。



## 「まちづくり協定」の周知活動を行っています



## ■まちづくり協定とは

木造密集市街地である上池袋1丁目の内側（特に南西側）で、「住み続けたいまちづくり」のためのルールです。

一例をご紹介します。

## ●狭あい道路（幅員4m未満道路）の拡幅

道路は、災害時の避難や消火・救出救護活動を円滑に行うためにとっても重要です。既存の狭あい道路（幅員4m未満道路）の中で、防災上優先的に整備すべき路線を抽出し、その整備の実現に向けて、行政や地権者等関係者を交えた具体的な検討を進めましょう。



第1地区協議会では、昨年度「まちづくり協定」を策定しました。

今年度は、本協定を周知するために、まず、地区の町会（上池袋町会・上池袋昭和町会・北大塚上池袋宮新町会・宮仲町会）の役員会で説明会を行っています。

今後は、区へ本協定の提言を行います。さらに、本協定の実現に向けて、どのような活動をしていくか、具体策を検討していきます。

## まちの紹介コーナー



堀之内公園

## まちの昔・今

私は、上池袋に生まれ育って来ました。国民第一小学校（現在の池一小）に在学中は、戦争のため母の実家に疎開しました。戻ってきて北区飛鳥山公園の山の上から街を眺めた時に、一面、焼野原となっていたのを覚えています。池一小の校舎も燃えて、しばらく別の学校に通っていました。戦前に住んでいた近所の方は、借家住まいが多く、戦後は多く移転してしまいました。

現在は、堀之内公園で清掃のボランティアを月に2回（原則第1、3日曜日）、仲間と和気あいあいと行っています。砂利をきれいに掃くと心がなごみ、落ち着きます。一方で、犬のフン問題が改善しないのが悩みです。皆さんにも是非ご協力いただきたいと思います。（早川 一雄）

## 👉 ご連絡お待ちしております！

まちづくり協議会ではご参加いただける方を募集しています。詳しくは下記事務局までお問い合わせ下さい。

〒170-8422 東京都豊島区東池袋2-60-3 グレイスロータリービル7階

豊島区都市整備部 地域まちづくり課 上池袋地区グループ TEL 3981-1464